

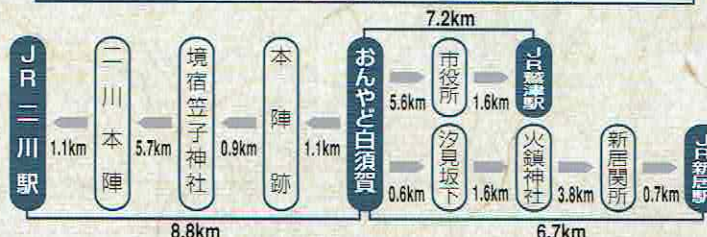
おんやど白須賀

利用案内

- 開館時間 午前10時～午後4時
- 休館日 毎週月曜日(ただし、月曜日が祝日または振替休日の場合は翌日)、12月29日～1月3日
- 入館料 無料(ゴミの持ち帰り、館内禁煙)

交通案内

- JR鷲津駅よりタクシーで13分
- 東名三ヶ日インターより車で約30分



白須賀宿歴史拠点施設 おんやど白須賀

〒431-0451 湖西市白須賀900番地
☎ 053-579-1777



白須賀宿歴史拠点施設「おんやど白須賀」は、東海道宿駅開設400年を記念し、白須賀宿の歴史と文化に関する知識を広め、資料の保存と活用を図るため設置されました。

展示概要

東海道

古くから重要な道として栄えてきた東海道は、慶長6年(1601)に宿駅制度が定められ、江戸日本橋から京都三条大橋までの間に53の宿駅があったことから、東海道五十三次の名が生まれました。

白須賀宿

白須賀宿は元々、汐見坂下の海岸沿いにありましたが、宝永4年(1707)の津波被害により今日の汐見坂上の台地へ移転しています。移転後の町並みは、14町19間の長さがあり道幅は2間でした。

汐見坂

白須賀宿の東端にある汐見坂は、浮世絵や和歌、道中記などに東海道の名所として広く紹介されています。

津波の記録

宝永4年(1707)に白須賀宿を襲った津波は、宿場を全滅させる深刻な被害をもたらしました。翌年には汐見坂下の元町から台地上へと宿場を移転しています。

大津波以前の宿場や村々の様子が、海浜にある長谷元屋敷遺跡の発掘調査から次第に明らかとなってきました。半農半漁の村々が海沿いにあったことがわかっています。

白須賀宿の文化人

白須賀宿は、国学者の夏目獺磨や加納諸平など数多くの文化人を生み出しています。

白須賀宿昔語り

潮見観音や猿ヶ番場の勝和餅など7話をかわいいイラストとともに絵本形式で紹介

白須賀宿Q&A

東海道や白須賀宿の問題をタッチモニターで楽しく学べます。

企画展示

個人所蔵などの白須賀宿関連の史料資料を随時公開

汐見坂風景

東海道名所の汐見坂を行き交う庶民の旅様様をナレーションとともに和紙人形で生き生きと表現しました。
制作:創作和紙人形華扇会



白須賀宿マップ

